

—資料—

新潟県における歯科診療所の状況について

—平成2年新潟県医療施設調査結果から—

石上和男*	永瀬吉彦*	佐々木健*
池主憲夫**	岡田恒雄**	太田丈夫**
安藤雄一***	池田恵***	小林清吾***
堀井欣一***		

*新潟県環境保健部公衆衛生課

**新潟県歯科医師会

***新潟大学歯学部予防歯科学教室

(主任：堀井 欣一 教授)

The actual condition of Dental Clinic in Niigata Prefecture

Kazuo ISHIGAMI*, Yoshihiko NAGASE*, Takeshi SASAKI*
 Norio CHINUSHI**, Tsuneo OKADA**, Takeo OTA**
 Yuichi ANDO***, Satoshi IKEDA***, Seigo KOBAYASHI***
 Kin-ichi HORII***

Key Words : 歯科診療所、従事者数、患者数、地域格差、フッ化物歯面塗布等の実施状況

緒言

新潟県では、県内の歯科診療所の分布及び従事者の状況を明らかにするとともに、1施設当たりの患者数やフッ化物歯面塗布等の実施状況を把握することにより、二次保健医療圏ごとの医療供給体制の課題と今後の歯科保健医療のあり方を検討するための基礎資料を得る目的で、「新潟県医療施設調査」¹⁾を実施したので、その結果について報告する。

対象及び方法

平成2年10月1日現在届出のある県内の医療機関(930歯科診療所)すべてを対象とし、厚生省が行う「医療施設静態調査」(以下「厚生省調査」という)の調査票と、新潟県が独自で作成した「新潟県医療施設機能調査」の2種類の調査票を配布した。配布及び回収は県環境保健部及び保健所が実施し、調査票の記入は医療施設管理者が行った。「厚生省調査」の調査項目は、休止・休診の

状況、診療科目、歯科設備、従事者数、診療実日数及び患者のべ数（平成2年9月25日から10月1日まで）等である。なお、この「厚生省調査」は全国規模で3年ごとにほぼ同一の方法で行われている。

また、「新潟県医療施設機能調査」は、はじめての試みとして「厚生省調査」と併せて行い、平成2年9月1か月間におけるフッ化物歯面塗布、フィッシャーシーラント、心身障害者診療、往診の4項目について歯科診療所での実施のべ件数を、また、市町村等の実施する保健事業や健診等への従事のべ日数をそれぞれ具体的に記入する方法で行った。

そして、これらの調査項目について、県内を13に区分した第二次保健医療圏域²⁾（巻・三条圏及び新潟圏を除いて、保健所管轄区域と同一地域）ごとに比較検討した。なお、今回行われた「厚生省調査」結果はまだとりまとめられていないので、昭和62年の結果³⁾との比較を行った。

結 果

1. 調査対象歯科診療所数

平成2年10月1日現在、歯科診療所として届けられているものは930施設であるが、このうち休診・休止中のもの25施設、事業所内診療所等8施設、調査票未提出8施設を除く、889施設を調査対象とし、表1に二次保健医療圏の対象歯科診療

所数と平成2年10月1日現在の人口10万対歯科診療所数⁴⁾を示した。

2. 歯科診療所1か所当たりの従事者数

歯科診療所1か所当たりの従事者数を、全国値及び県平均を二次保健医療圏別に比較した。昭和62年の全国値5.03人に対し、昭和62年の県平均5.32人、平成2年の県平均5.41人と、わずかながら増加している。また、二次保健医療圏別にみると、最低が新潟圏の4.74人、最高は上越圏の6.09人で1.35人の開きがみられた（図1）。

これを職種別にみると、平成2年県平均では、歯科医師（常勤と非常勤の合計数）1.33人、歯科衛生士1.12人、歯科技工士0.43人、歯科業務補助者1.76人、事務職0.48人、看護婦等その他0.29人であった。昭和62年の全国値と比較すると、歯科衛生士数が全国値0.79人に対し、新潟県が1.12人と多い以外はそれぞれの職種はほぼ同じ値を示していた。

また、これを二次保健医療圏別にみると、歯科医師は1.12人（十日町圏）から1.44人（長岡圏と小出圏）まで、歯科衛生士は0.71人（村上圏）から1.48人（六日町圏）まで、歯科技工士は0.27人（糸魚川圏）から0.69人（上越圏）まで、歯科業務補助者は1.22人（六日町圏）から2.22人（柏崎圏）まで、事務職は0.35人（六日町圏）から0.70人（佐渡圏）まで、それぞれ幅がみられた。

このうち、歯科衛生士のいる歯科診療所の割合

表1 二次保健医療圏別歯科診療所数

医療圏名	届出診療所数	対象診療所数	10万対診療所数	医療圏名	届出診療所数	対象診療所数	10万対診療所数
村上	28	28	32.9	六日町	23	23	30.4
新発田	90	85	35.3	十日町	25	25	33.4
新津	90	86	37.7	柏崎	34	32	30.0
新潟	265	253	53.5	上越	72	68	27.1
巻三条	148	143	36.3	糸魚川	16	15	24.7
長岡	91	84	32.9	佐渡	20	20	25.6
小出	28	27	27.8	県計	930	889	36.7

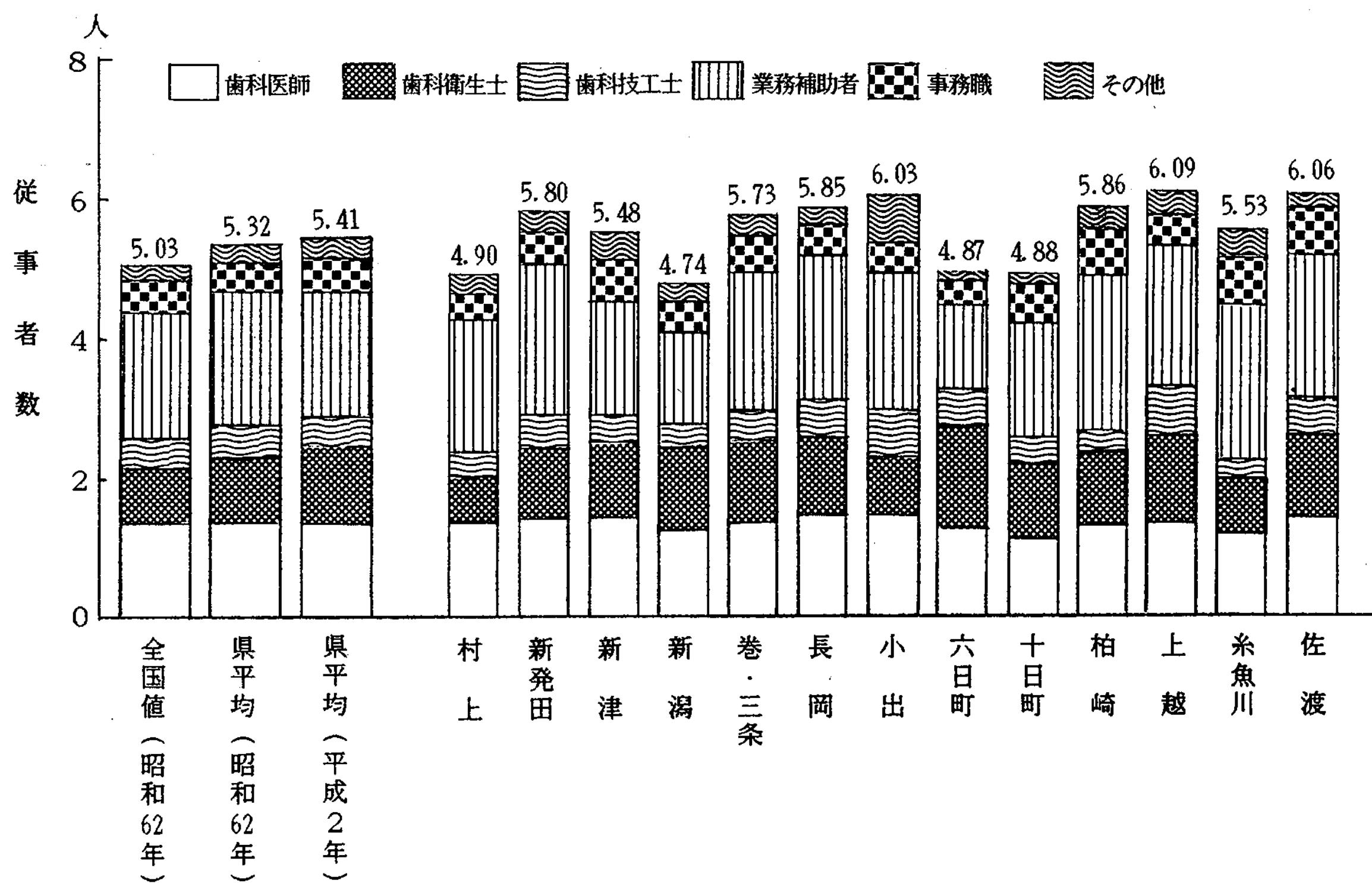


図1 歯科診療所1カ所当たりの従事者数

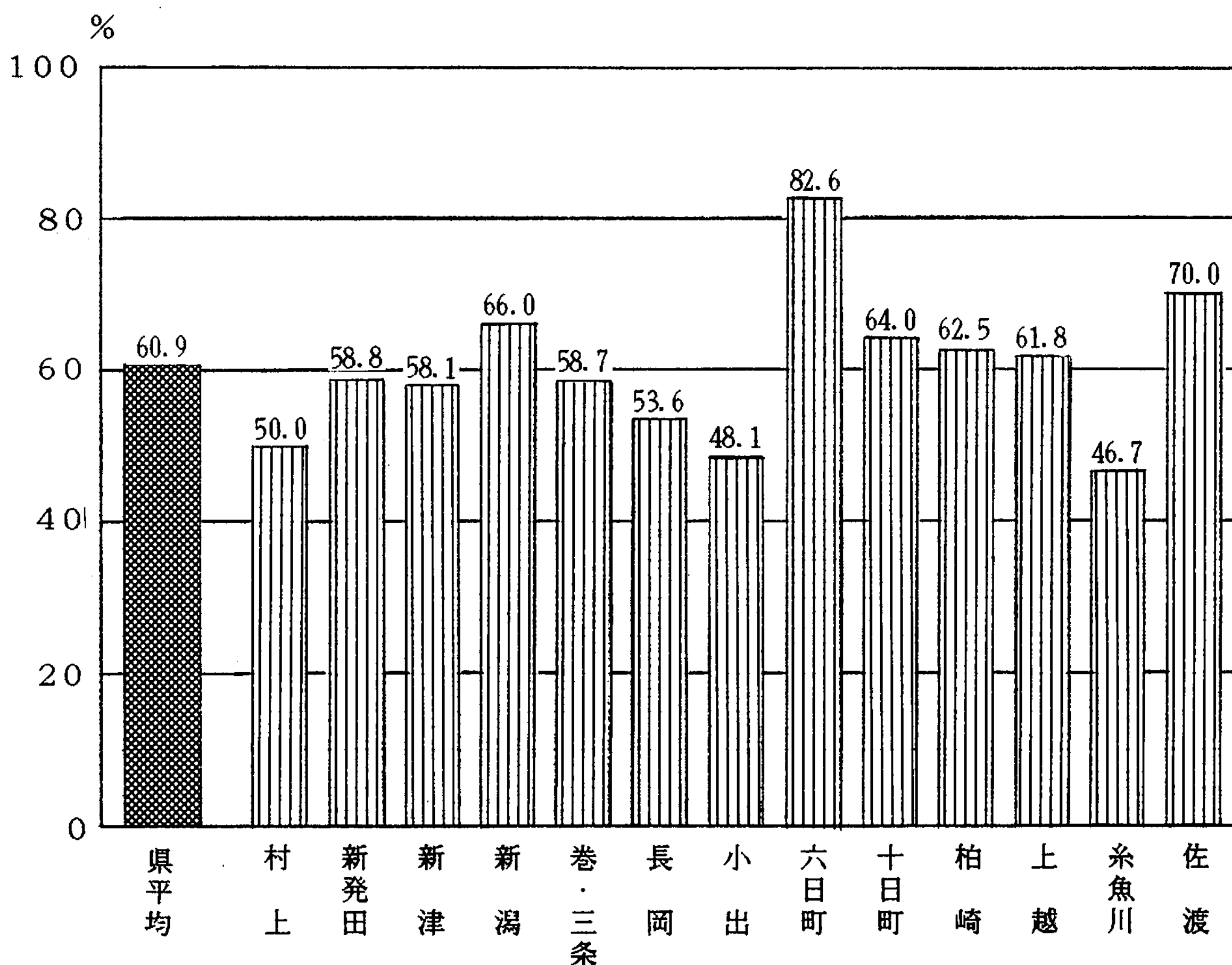


図2 歯科衛生士のいる歯科診療所の割合

を二次保健医療圏別にみると、最も大きいところは六日町圏82.6%であるのに対し、糸魚川圏46.7%、小出圏48.1%、村上圏50.0%と低い値を示し

ていた (図2)。

3. 歯科設備の保有状況

歯科用X線装置、トレイ式フッ化物歯面塗布器、

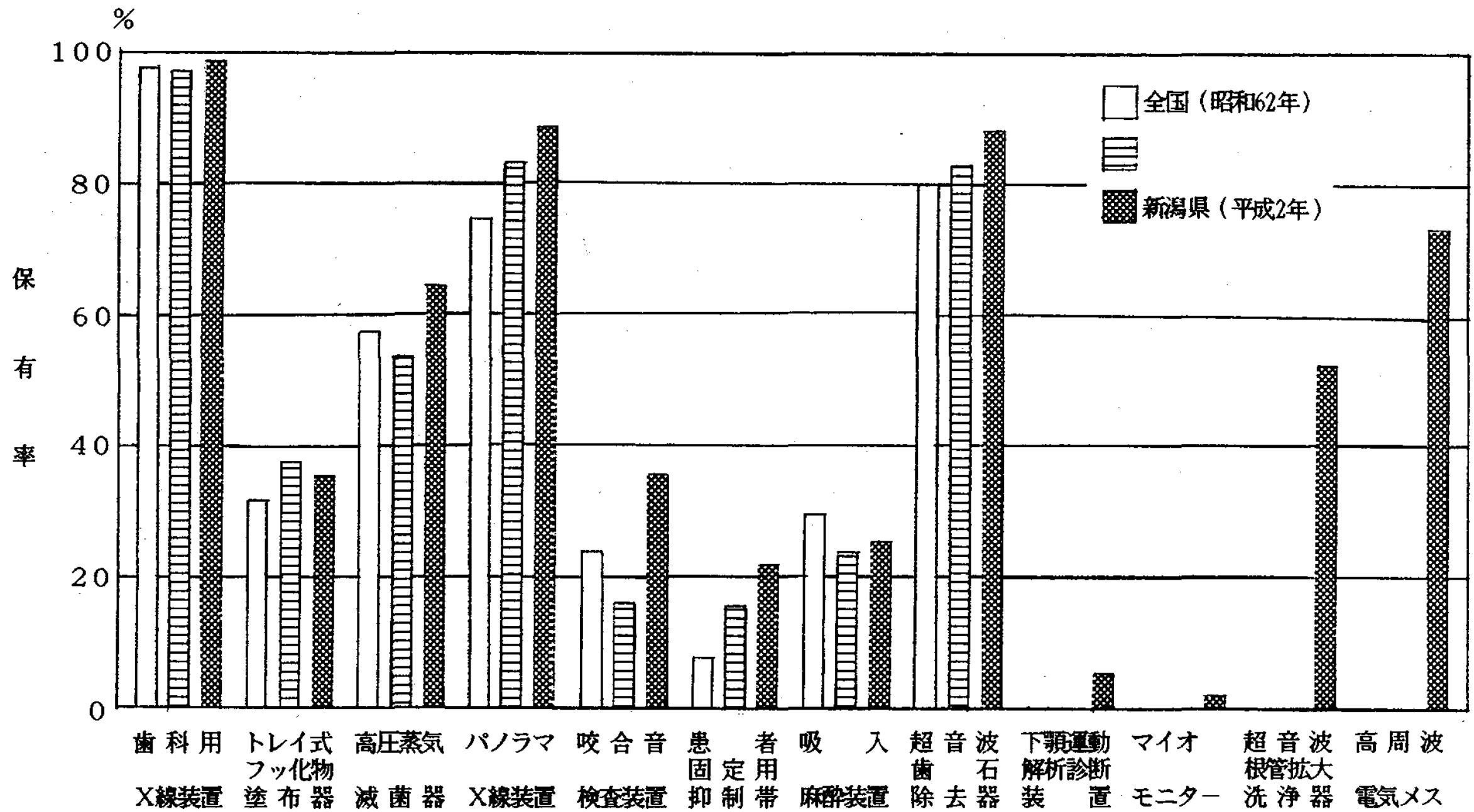


図3 歯科設備の保有状況

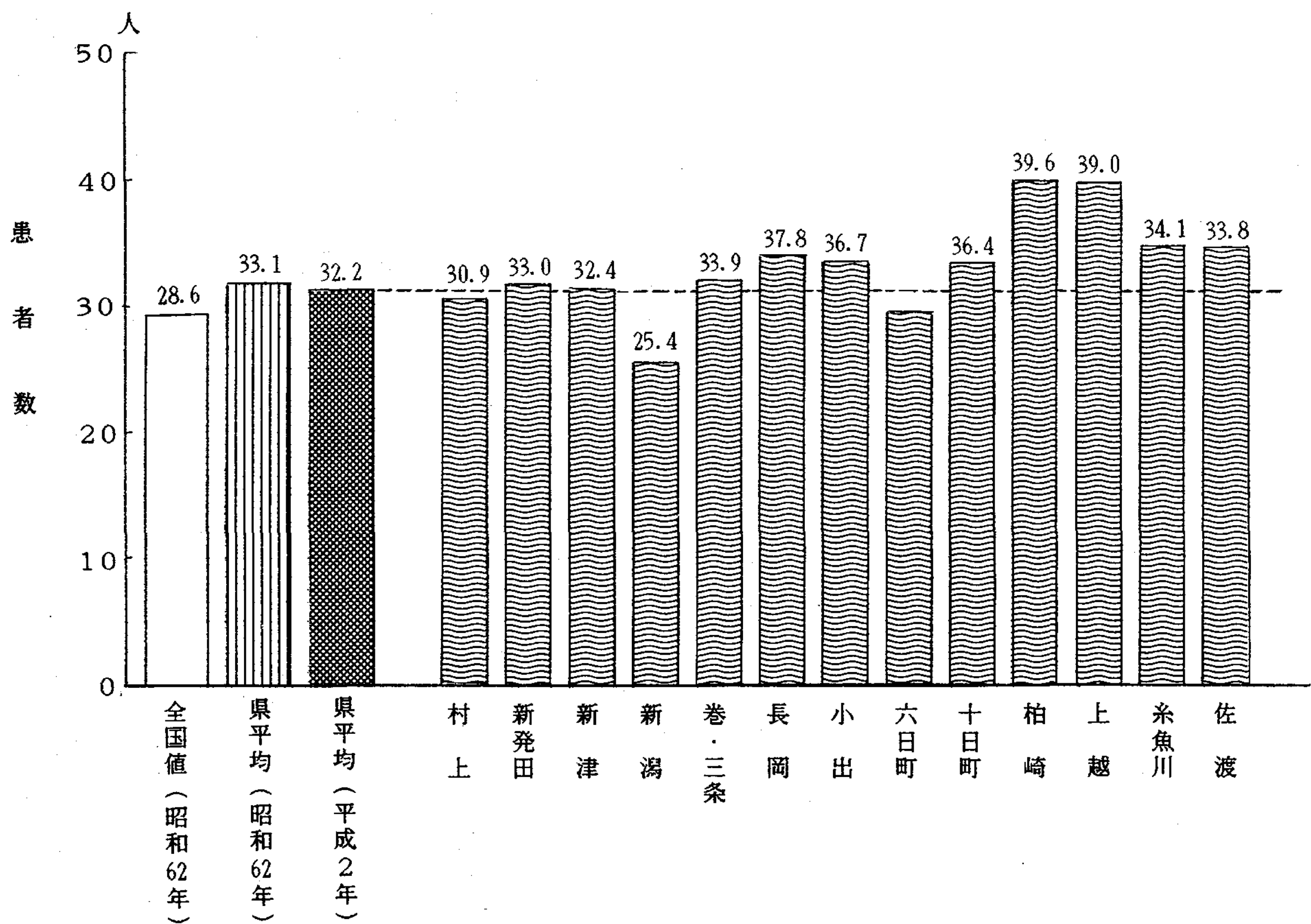


図4 歯科診療所1カ所当たり1日平均患者数

高圧蒸気滅菌器、パノラマX線装置、咬合音検査装置、患者固定用抑制帯、吸入麻酔装置、超音波歯石除去器の8つ設備の保有状況については、「厚生省調査」結果とを比較して示した。また、平成2年調査で新たに加わった下顎運動解析診断

装置、マイオモニター、超音波根管拡大洗浄器、高周波電気メスの4つの設備の保有状況も併せて示した(図3)。

保有率の高い順から、歯科用X線装置98.7%、パノラマX線装置88.8%、超音波歯石除去器88.1

%、高周波電気メス73.1%、高圧蒸気滅菌器64.5%であり、逆に保有率の低いものは、マイオモニター2.0%、下顎運動解析診断装置5.3%、患者固定用抑制帯21.7%であった。昭和62年と平成2年で保有率の比較をすると、トレイ式フッ化物歯面塗布器が37.5%から35.4%に減少した以外はいずれも増加していた。

4. 1日平均患者数

「厚生省調査」の方法にしたがい、平成2年9月25日(火)から10月1日(月)までの間における診

療のべ患者数を診療総日数で割ったものを、1診療所当たり1日平均患者数として求めた。昭和62年の全国値をみると、48,300の歯科診療所で、患者のべ数は7,375,665人、診療総日数は257,450日であったので、1診療所当たり診療日数は5.33日、1日平均患者数は28.6人と計算される。

この方法にしたがい、昭和62年の県平均を求めると、830の歯科診療所があり、この間の患者のべ数は152,501人、診療総日数は4,614日で、1診療所当たり診療日数は5.56日、1日平均患者数は

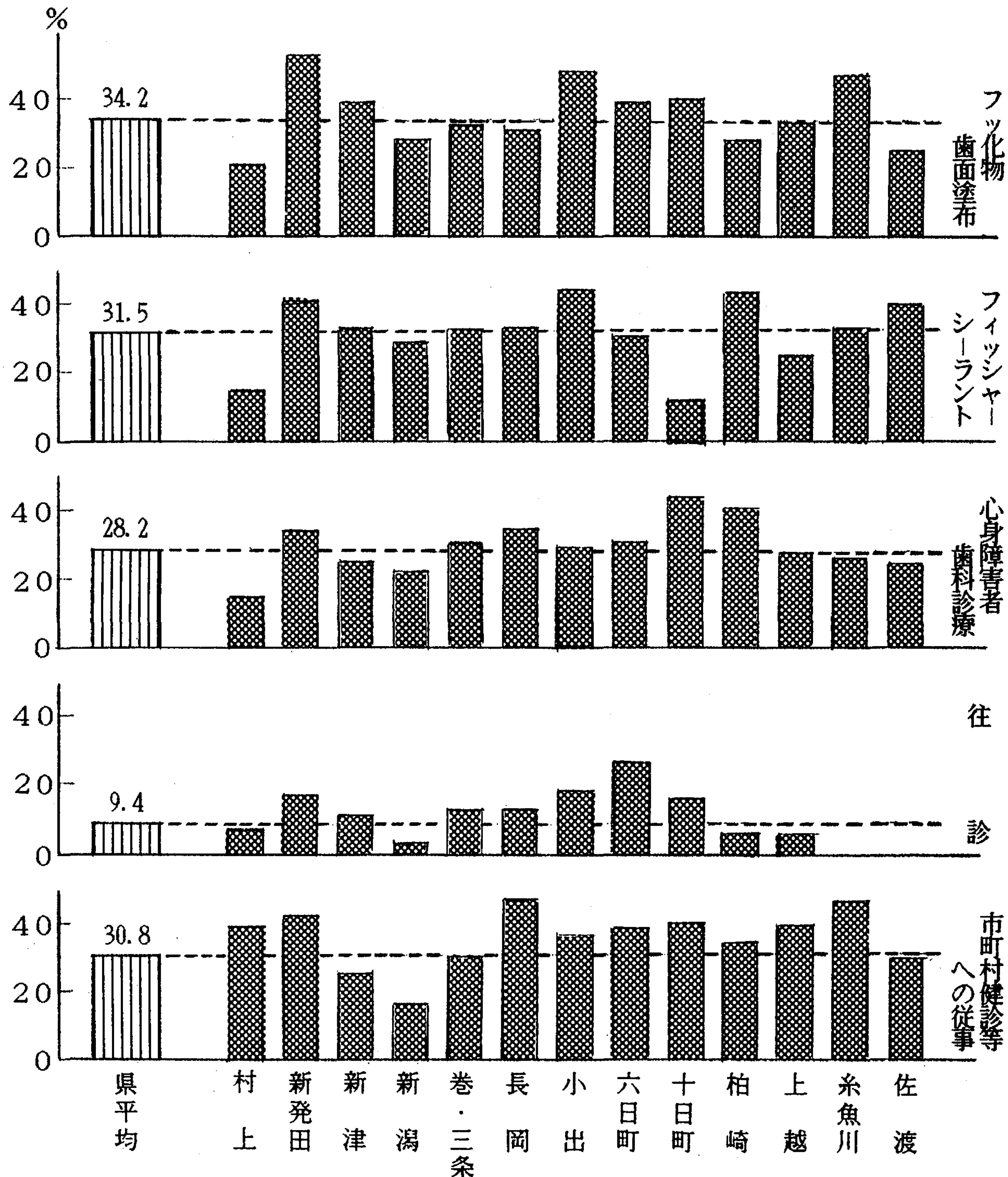


図5 フッ素塗布等の実施診療所の割合(平成2年9月1カ月間)

33.1人であった。同じく平成2年では、889診療所、患者のべ数は160,741人、診療総日数は4,986日で、1診療所当たり診療日数は5.61日、1日平均患者数は32.2人であった。

昭和62年の状況について二次保健医療圏別にみると、最低値は新潟圏25.4人、最高値は柏崎圏39.6人と大きな開きがみられた(図4)。

5. フッ化物歯面塗布等の実施状況

平成2年9月1か月間においてフッ化物歯面塗布を実施した診療所は34.2%、フィッシャーシーラント31.5%、心身障害者歯科診療28.2%、往診9.4%、市町村健診等への従事30.8%であった(図5)。

これらを二次保健医療圏別にみると、大きな格差が存在している。フッ素塗布は21.4%(村上圏)から52.9%(新発田圏)まで、フィッシャーシーラントは12.0%(十日町圏)から44.4%(小出圏)まで、心身障害者歯科診療は14.3%(村上圏)から44.0%(十日町圏)まで、往診は0(糸魚川圏

と佐渡圏)から26.1%(六日町圏)まで、市町村健診等への従事は16.6%(新潟圏)から47.6%(長岡圏)まで、それぞれ幅があった。

フッ化物歯面塗布とフィッシャーシーラントについて、平成2年9月1か月間の実施件数を、二次保健医療圏別にみたものが表2であり、医療圏間の格差が存在していた。フッ化物歯面塗布の実施件数は、最大値が新潟圏の901件、最小値は佐渡圏の12件であったが、これをこの1か月間にフッ化物歯面塗布を実施したと答えた歯科診療所1か所当たりの実施件数としてみると、十日町圏が1か所当たり22.8件と最も多く、佐渡圏は2.4件と最も少ない値を示した。フィッシャーシーラントについても同様に格差が存在しているものの、フッ化物歯面塗布ほどの実施件数の差はみられず、最大値は巻・三条圏の16.5件、最小値は六日町圏の6.7件であった。

考 察

表2 二次保健医療圏別フッ化物歯面塗布及びフィッシャーシーラント実施状況

二次保健医療圏名	対象歯科診療所数	フッ化物歯面塗布				フィッシャーシーラント			
		実施所数	実施件数	実施診療所率	1か所当件数	実施所数	実施件数	実施診療所数	1か所当件数
村上	28	6	77	21.4%	12.8件	4	33	14.3%	8.3件
新発田	85	45	272	52.9	6.0	35	320	41.2	9.1
新津	86	34	165	39.5	4.9	28	298	32.6	10.6
新潟	253	71	901	28.1	12.7	73	556	28.9	7.6
巻三条	143	46	342	32.2	7.4	46	759	32.2	16.5
長岡	84	26	207	31.0	8.0	28	278	33.3	9.9
小出	27	13	78	48.1	6.0	12	86	44.4	7.2
六日町	23	9	45	39.1	5.0	7	47	30.4	6.7
十日町	25	10	228	40.0	22.8	3	25	12.0	8.3
柏崎	32	9	77	28.1	8.6	14	105	43.8	7.5
上越	68	23	184	33.8	8.0	17	147	25.0	8.6
糸魚川	15	7	26	46.7	3.7	5	64	33.3	12.8
佐渡	20	5	12	25.0	2.4	8	67	40.0	8.4
県計	889	304	2,614	32.2	8.6	280	2,785	31.5	9.9

注) 1か所当件数は、実施総件数を実施診療所数で除したもの

今回、二次保健医療圏ごとに、歯科診療所1か所当たりの従事者数、1日平均患者数、フッ化物歯面塗布等の実施状況について比較検討を行ったところ、圏域間の格差が大きいことがわかった。等しくより良い県民サービスを提供するという観点から、これらの要因を解析評価し、一層の保健医療サービスの充実に努めなければならない。

1. 歯科診療所1か所当たりの従事者数 (図1)

昭和62年と平成2年の県平均従事者数を比較すると、歯科医師、歯科技工士数はほとんど変化してないのに対し、歯科衛生士は0.95人から1.12人に増加し、逆に歯科業務補助者は1.91人から1.76人に減少している。また、昭和62年全国値と平成2年県平均を比較すると、歯科衛生士の差(0.79人と1.12人)が、歯科診療所1か所当たりの従事者数の差(5.03人と5.41人)を反映している。

これを二次保健医療圏ごとに比較すると、特に、歯科衛生士と歯科業務補助者の差が大きい。また、図2の歯科衛生士の従事状況からみても、村上圏、糸魚川圏、小出圏などでは歯科衛生士の確保が難しい状況にあると推察され、今後何らかの対応の必要が生じると思われる。

2. 歯科設備の保有状況 (図3)

昭和62年に比べ平成2年において、保有率の伸びが大きいものは、咬合音検査装置(15.7%から35.4%に19.7ポイント増加)、高圧蒸気滅菌器(53.5%から64.5%に11.0ポイント増加)、患者固定用抑制帯(15.3%から21.7%に6.4ポイント増加)であり、いずれも歯科医療の高度化に伴うものと考えられる。なお、患者固定用抑制帯の保有率が全国値より高いのは、新潟県が心身障害児(者)の歯科診療協力制度を設け、協力医に対し抑制帯の貸与をしたことも一要因と考えられる。

一方、トレイ式フッ化物歯面塗布器の保有率は全国値(31.5%)よりも高いものの、昭和62年に比較しやや減少している。これは、塗布器製造メーカーが製造を中止したことも要因のひとつと考えられる。

3. 1日平均患者数

1日平均患者数が最も少ない新潟圏(25.4人)と最も多い柏崎圏(39.6人)の間には14.2人の差

がみられた。これは、昭和59年に愛知県歯科医師会が行った愛知県全体の1日平均患者数29.7人に対し、名古屋市23.0人と低値を報告している調査⁵⁾と同様、都市部で1日平均患者数が少なくなっていることを示している。しかしこれは、二次保健医療圏単位の平均値でみたものであり、人口10万対歯科診療所数と1日平均患者数の関連などの詳細については、今後、市部と町村部に区分した分析が必要である。また、各種の歯科健康教育の実施状況との関連の有無等についてもさらに解析を加える必要がある。

4. フッ化物歯面塗布等の実施状況

1) フッ化物歯面塗布実施率

平成2年9月1か月間における二次保健医療圏別のフッ化物歯面塗布実施率の差(21.4%から52.9%)とともに、実施診療所1か所当たりの実施件数の差(2.4件から22.8件)が極めて大きいことがわかった。

歯科診療所におけるフッ化物歯面塗布実施率の調査は少ないが、昭和57年アメリカ歯科医師会が行った国内3500人の開業医を対象とした調査⁶⁾の結果、フッ化物歯面塗布を行っている診療所の割合は81.2%であったという報告がある。また、白勢ら⁷⁾は、神奈川県歯科医師会対象のアンケート調査を行い、フッ化物歯面塗布を「よく行う」と答えた者16.1%、「ときどき行う」と答えた者54.9%、「いいえ」と答えた者29.0%であったと報告している。これらの報告に比べ今回の調査は、1か月間という期間設定の中における実施の有無を問う内容で、調査方法が異なるにしろ、県平均実施率34.2%はまだ低い値を示していると考えられる。

2) フッシャーシーラント実施率

フッシャーシーラントは小窩裂溝う蝕予防を図る目的で健康保険診療体系に組込まれ歯科診療所で広く行われているものと考えられるが、実際には県平均実施率は31.5%と低い値を示し、フッ化物歯面塗布ほどではないにしろ、医療圏間の差が存在していることが分った。

アメリカ歯科医師会の全国調査⁶⁾によると、歯科診療所のフッシャーシーラント実施率は、1974

年に38%であったものが、1982年には58%に増加していると報告されている。また、Faineらが1985年に行ったワシントン州の調査⁷⁾では80.7%の歯科医が実施しており、若い年齢ほど、小児患者が多いほど実施率が高かったとしている。我が国の報告は少ないが、白勢ら⁸⁾の調査結果によれば、フッシャーシーラントを「よく行う」と答えた者31.6%、「ときどき行う」と答えた者42.6%、「いいえ」と答えた者25.8%であったと報告している。

今回の調査を、これらの報告と直接比較することは困難であるが、実施率はまだまだ低い状態にあると考えられる。

3) 心身障害者歯科診療と往診実施率

心身障害者の歯科診療及び歯科往診の実施率に関する報告はほとんど見当たらないが、新潟県の場合、昭和57年度から心身障害者歯科診療協力医制度を実施してきた歴史があり、各診療所での定着が図られていることから、全国的には高い実施率と考えられる。また、歯科往診については、昭和62年度から寝たきり者歯科往診事業として、歯科医師会員の協力のもとに郡市歯科医師会単位で計画的に広げてきていることから、これを実施している郡市歯科医師会のある医療圏では実施率が高く、未実施医療圏では低くなっているものと考えられる。

4) 市町村健診等への従事率

市町村等の実施する保健事業、健診等への従事した診療所の割合は、長岡圏が最も高く、84診療所のうち47.6%に当たる40診療所であるなど、多くの診療所が市町村等の行う事業に従事している現状が明らかになった。ただ、今回の調査は、平成2年9月1か月間だけの資料であることから、市町村等の事業がある時期に偏るなどの個々の事情については考慮されていない。

結 論

新潟県における歯科診療所の状況について、厚

生省調査に併せて県独自調査を行い、二次保健医療圏ごとの分析、考察を行った。

- 1) 県内のほぼ全域に当たる889歯科診療所の1か所当たりの従事者数や歯科設備の保有状況、1日当たりの患者数、フッ化物歯面塗布や市町村等が行う事業への従事状況などについて把握した。
- 2) 1診療所当たりの従事者数、中でも歯科衛生士数や歯科業務補助者数、1日当たりの患者数、フッ化物歯面塗布等の実施診療所数は、二次保健医療圏ごとに相当の各差がみられた。
- 3) 県民に等しく、より良い県民サービスを提供するためには、これら格差是正の方策を多角的に検討する必要がある。

文 献

- 1) 新潟県環境保健部：平成2年新潟県医療施設機能調査結果報告書。新潟，1991。
- 2) 新潟県：新潟県地域保健医療計画。新潟，1987。
- 3) 厚生省大臣官房統計情報部：昭和62年医療施設調査。東京，1989。
- 4) 新潟県環境保健部：衛生年報。新潟，1992。
- 5) 厚生省健康政策局歯科衛生課：将来の歯科医師数。口腔保健協会。1986。
- 6) American Dental Association Health Foundation：Prevention in the dental office：results of a preventive dentistry survey. JADA, Vol. 108, 809-817, 1984。
- 7) Faine R. C., Dennen T.: A survey of private dental practitioners utilization of dental sealants in Washington state. Journal of Dentistry for Children, 337-342, SEPTEMBER-OCTOBER 1986。
- 8) 白勢康夫ら：神奈川県下における永久歯萌出期の歯科保健活動について、口腔衛生学会雑誌, 39(4), 464-465, 1989。